

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職:長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地  
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daijanji.jp

# 大安寺報



## 名句・名言に学ぶ

松下幸之助 (実業家・発明家)

「春を楽しむように人生を楽しむ心が  
あるならば、やがてまた春のそよ風  
のように、心もやわらいで、生き甲  
斐も感じられてきます」

昨冬並の豪雪に見舞われた長い冬も、  
終わりを告げようとしています。雪が溶  
け、凍てついていた大地から「ぼっけ」  
などの野草が顔を出し、梅や桜がほこ  
ろんでくると、心なしか気持ちウキウキ  
し、日々の暮らしに張り合いが出てくる  
もの。来る五月八日の花まつりでは、桜  
の花のもとで共に春を愛でたいものです。

さて、冒頭のことばで大切なのは「春  
を楽しむように人生を楽しむ心があるな  
らば」という部分です。苦しい冬を乗り  
越えて春を迎える時期というのは、誰し  
も気持ちが高揚し、幸福感を感じがちで  
す。しかし、秋から冬の時期にこの気持  
ちを保ち続けるのは難しいもの。なぜな  
ら、そこに、「冬」嫌いな季節、苦しい季節」  
という固定観念があるからです。松下氏  
は、「人生を楽しむ心」をいつ何時でも保  
つよう勧めます。実は、そこに、仏さま  
の教えが隠されているのです。仏さまの  
教えの中に、「一切唯心造」ということば

があります。「全ての現象・存在は『心』  
が造り出したものだ」という意味です。  
人は自分が見たいように、妄想の眼・心  
をもつて世界を見てしまいがちです。本  
当は足元に美しい光景が広がっていても、  
曇った心を通して見ていると、その美し  
さには気づかないものなのです。

二千年以上にもわたって培われ、受け  
継がれてきた仏さまの教えの実践法であ  
る、礼拝・坐禅・読経・写経といった仏  
道修行。その仏道修行を通して心を調え、  
曇りのない心を通して世界を見る時、季  
節を問わず、そこには心やわらぐ、生き  
がいの感じられる世界が現われてきます。  
これから、三月十五日の「涅槃会」、三月  
二十日の「春季彼岸会」、五月八日の「釈  
尊降誕会」(花まつり)と、仏教行事が続  
きます。坐禅や写経などの仏道修行の機  
会も設けております。ぜひともそういつ



た機会にお寺に  
おでかけになり、  
心を調べ、世界  
の美しさ、人生  
の豊かさをあり  
のままに楽しめ  
る心を養ってい  
ただきたいと念  
願しております。

合掌

## 仏事 Q & A 第十五回

Q. 「亡くなって二年目の法  
事なのに、三回忌というのは  
何故? また、法事の意味は?」

A. 「一周忌」は一年周って  
きたときの忌日をいい、ご命  
日から一年後に営みます。

「三回忌」は三回目の忌日を  
意味し、亡くなってから二年  
目に営みます。言い方を変え  
れば、「一周忌」は「二回忌」  
となるのですが、長年の慣習  
により、「周忌」という呼び  
方を採用しているのです。

また、「法事」は「追善供  
養」ともいい、亡き方のため  
に、残された者が追って善い  
行いをし、その福を亡き方に  
廻らし、振り向け、供養する  
ことを意味します。

### 当寺の最新情報をチェック!

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨: 曹洞宗 本山: 福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖: 道元禪師 太祖: 瑩山禪師  
ご本尊: 釈迦牟尼仏 本尊唱名: 南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)